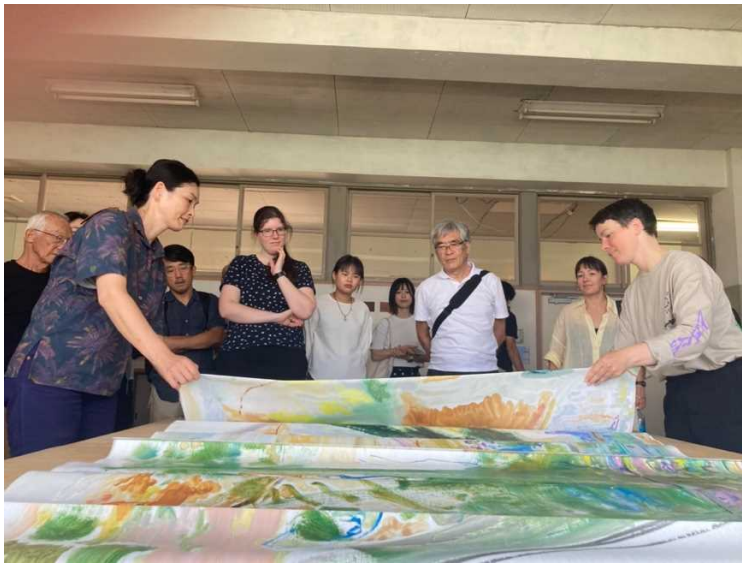


2025年1月24日

アーカスプロジェクト 2024 いばらき

アーカス・リサーチ Winter 「Show & Tell」開催!



この度、アーカスプロジェクトは、短期滞在制作プログラムであるアーカス・リサーチ Winterの参加アーティスト3人による、「Show & Tell」を開催します。

Show & Tellとは言葉どおり「見せて話す」の意味で、アーティストが滞在制作中に取り組んだリサーチや制作を口頭で発表する機会です。作品が生み出される過程や構想に触れる場であり、来場者とアーティストたちが交流し、新しい情報や知識を交換する場でもあります。具体的に表現された作品を見ながら話を聞くと、新たな発見につながることもあるので、ご興味がある方はどなたでもご参加ください（発表は英語のみとなります）。

ぜひこの機会にご取材賜りたく、貴誌ならびに貴社情報媒体に掲載をしていただきたくお願い申し上げます。

概要

日	時：2025年2月8日 [土] 14:00-16:00 (受付開始 13:50)
会	場：アーカススタジオ (茨城県守谷市板戸井 2418 もりや学びの里 2階)
定	員：20名 (要予約) ※定員に達し次第受付終了。
参	加 費：無料
予	約：メール (arcus@arcus-project.com) または電話 (0297-45-2600)
ア	ーティスト：レベッカ・ヒルマー・ヘルホフト、マーリー・マクマホン、三野綾子
言	語：英語のみ (日本語通訳はありません。)

アーカス・リサーチとは

アーカス・リサーチは 2022 年度に開始した自己主導型の短期レジデンスプログラムです。国内外の幅広い世代のアーティスト、キュレーター、研究者、作家など文化・芸術分野の実践者や専門家を対象に、創造的な実験やフィールドワーク、リサーチのための時間と環境を提供しています。東京の中心部から 1 時間、研究都市であるつくば市まで 30 分の場所に位置する守谷市にあることで、日本のアートシーンやあらゆる領域の研究施設とつながりながら、落ち着いた環境で自らの創作に打ち込むことができます。

アーカス・リサーチの特長

- ・ アートだけではなく、文学、演劇、音楽など、あらゆる創作ジャンルにおける表現者が対象。
- ・ 短期集中型で、今年度は各参加者が 30 日間、守谷市のアーカススタジオを拠点に活動。
- ・ 今回の参加アーティストは日本のアニメーションや映画、視覚言語、織物、怪談などのテーマもさまざま。結城紬の見学や、『真景累が淵』の物語の発端である常総市でのリサーチなど、茨城ならではの調査をするアーティストもいます。

アーカス・リサーチ Winter 参加アーティスト

レジデンス期間：2025 年 1 月 16 日-2 月 14 日

レベッカ・ヒルマー・ヘルホフト (デンマーク)



哲学を学び、詩やアニメーション映画から影響を受けながら、彫刻や版画、ドローイング、ライティングを通して悲しみや生成変化について探究する。幼い頃に父親を亡くした自身の経験から、存在と不在、生と死の融合について見つめなおす作品集、『Drawn To The Pencil; Dark Light Glitter』（2023 年）を出版。アーカスプロジェクトでは、植物の主体性に着目し、日本のアニメーション映画と植物の相互関係を調査する。アニメーション映画と植物の歴史を学び、その文化的背景を捉えるべく、アニメーション映画の研究者へのインタビューや国立映画アーカイブや茨城県自然博物館でリサーチする。

<https://www.rebekkahilmerheltoft.com>

マーリー・マクマホン (オーストラリア/オランダ)



オーストラリアのメルボルンを拠点に活動するペインター、アーティスト。抽象絵画を通して、色彩の相互作用と絵の具による表面張力の関係を探求する。近年は絵画をベースにしながらも、彫刻的な方法で空間にアプローチする作品づくりに関心を寄せている。アーカスプロジェクトでは、視覚言語や色彩、パターンによるテキスタイルの手法に着目しながら、日本の伝統的な織物や染物、絞りの技法と歴史を調査する。結城紬や久留米^{かすり} 紬の現場に出向きリサーチやワークショップに参加し、作品制作に繋げる。

www.marleemcmahon.com



三野綾子 (日本)

ミクストメディアによるインスタレーションや、ビデオインスタレーションの作品制作、展示の企画などを行うビジュアルアーティスト。事実として認識されていることや、小説、神話をモチーフにフィクショナルなもう 1 つのストーリーを構築し、作品化する。2008 年に武蔵野美術大学の映像学科を卒業。2016 年に東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻を修了。自身で企画した展示に《メランコリア》(2019)、《Ψ の庭・Φ の夢》(2022)、《Geist Enclosure》(2023)などがある。アーカスプロジェクトでは、2024 年に制作した中編映画作品《Lethe》のモチーフである『真景累が淵』の物語の発端である累が淵を手掛かりに、物語に登場する場所と物語の関係性をリサーチする。

プログラム詳細 : <https://www.arcus-project.com/residence-program/arcus-research/>

主催 : アーカスプロジェクト実行委員会

お問い合わせ先

アーカススタジオ (火-土 10:00 -18:00)

〒302 - 0101 茨城県守谷市板戸井 2418 もりや学びの里 2 階 担当 | 恩田・藤本

TEL | 0297-46-2600 E-mail | arcus@arcus-project.com Web | www.arcus-project.com

アーカスプロジェクト実行委員会事務局

茨城県政策企画部地域振興課 担当 | 吉田・堀江 TEL | 029-301-2678